



2017年1月25日

各位

会社名 旭硝子株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 島村琢哉
 (コード番号 5201 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部広報・IR室長 玉城和美
 (TEL. 03-3218-5603)

(開示事項の経過) 2016年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2017年1月19日付で公表しました2016年12月期通期連結業績予想の修正に関して、この度、精査中であった予想数値を算定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2016年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2016年1月1日～2016年12月31日)
 (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に帰属する当期純利益	基本的1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	1,280,000	84,000	54,000	36,000	30,000	25.95
今回発表予想(B)	1,280,000	95,000	67,000	52,000	46,000	39.78
増減額 (B-A)	0	11,000	13,000	16,000	16,000	-
増減率 (%)	0	13.1	24.1	44.4	53.3	-
(ご参考) 前期実績(2015年12月期)	1,326,293	71,172	84,522	46,287	42,906	37.12

※「前回発表予想(A)」は2016年7月14日付けで公表した予想数値です。

「今回発表予想(B)」は2017年1月19日付けで公表した売上高及び営業利益の予想数値に加え、精査中であった税引前利益、当期純利益、親会社の所有者に帰属する当期純利益、基本的1株当たり当期純利益の予想数値を追記したものです。

2. 修正の理由

化学品事業が好調に推移したこと、液晶用ガラス基板の出荷数量が好調に推移したこと、更に、米国子会社の年金制度改定に伴う一時的な利益(約20億円)などにより、営業利益は前回予想を上回る見込みです。

上記の営業利益の増加に加え、主に業績の回復に伴い繰延税金資産を積み増し法人税等調整額の戻りが生じたことなどにより、当期純利益及び親会社の所有者に帰属する当期純利益は前回予想及び前期実績を上回る見込みです。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上